



題字 埼玉県立浦和北高等学校 3年生 青地 唯夏 様

表紙写真 第14回埼玉県議会フォトコンテスト 副議長賞「夕焼け小焼け」 撮影者：小林 千津子 様 撮影場所：戸田市荒川土手

アプリ「COCOAR 2」をダウンロードして、上の写真にスマートフォンをかざすと、フォトコンテストの他の入賞作品をご覧になれます。

iPhoneはApple Inc.の商標または登録商標です。AndroidはGoogle Inc.の商標または登録商標です。



### 主な内容

#### 1 面

- ◆ 9月定例会の動き
- ◆ 9月定例会の議決の概要
- ◆ 10月臨時会の議決の概要
- ◆ 議員政策研修会を開催

#### 2・3 面

- ◆ 一般質問
- ◆ 意見書・決議
- ◆ 請願

#### 4 面

- ◆ 委員会レポート
- ◆ 決算特別委員会を設置
- ◆ 県議会クイズ **プレゼント付き!**

#### 会派別所属議員数 令和元年10月31日現在

会派名(略称)	所属議員数
自 民	50 人
県 民	14 人
民主フォーラム	12 人
公 明	9 人
共産党	6 人
改 革	1 人
無所属	1 人
計	93 人

## 9月定例会の動き

知事選挙後初めての定例会が9月20日(金)から10月11日(金)までの22日間にわたって開かれました。

- 9月20日 開会日**  
知事提出議案について、知事から提案説明が行われました。
- 9月27日・30日・10月1日～3日 一般質問**  
15人の議員が質疑・質問を行い、大野知事の基本姿勢などを質したほか、活発な論議が行われました。(2・3面)
- 9月27日・10月7日 常任委員会**  
補正予算・条例などの議案および請願の審査などが行われました。(4面)
- 10月8日・9日 特別委員会**  
付託案件の審査が行われました。(4面)
- 10月11日 閉会日**  
各委員会の委員長報告を受けて討論・採決が行われました。

## 9月定例会の議決の概要

### ●知事提出議案

- 令和元年度埼玉県一般会計補正予算(第1号) 歳入歳出予算補正額 22億550万7千円  
・参議院議員補欠選挙に要する経費
- 令和元年度埼玉県一般会計補正予算(第2号) 歳入歳出予算補正額 55億134万4千円  
・道路・河川事業など公共事業の追加に係る経費
- 令和元年度埼玉県一般会計補正予算(第3号) 歳入歳出予算補正額 10億6,444万2千円  
・豚コレラによる被害を受けた養豚農家などへの支援策、感染予防、まん延防止などに係る経費
- 埼玉県心身障害者扶養共済制度条例及び埼玉県ふくぐの取扱い等に関する条例の一部を改正する条例など9件を可決、そのほか2件を継続審査、7件に同意

### ●議員提出議案

- 埼玉県議会議事規則の一部を改正する規則  
・議員の欠席事由に「育児、家族の看護又は介護、配偶者の出産補助」を追加
- 豚コレラ対策の一層の強化を求める意見書
- 太陽光発電施設の立地規制等に係る法整備等を求める意見書
- あおり運転根絶に向けた対策の強化を求める意見書
- 北朝鮮による弾道ミサイルの発射に抗議し、制裁措置の厳格な履行等を求める決議など14件を可決

## 議員政策研修会を開催



9月20日(金)に議員政策研修会が開催され、寄居町立寄居中学校教諭・ラグビー部部長兼監督の新井昭夫氏が「ラグビーを通じた教育、人材育成」をテーマに講演を行いました。当日は、県議会議員および県内市町村議会の議長・副議長の計101人が参加しました。

## 10月臨時会の議決の概要

10月31日(木)に開かれました。

### ●知事提出議案

- 令和元年度埼玉県一般会計補正予算(第4号) 歳入歳出予算補正額 4,395万3千円  
・豚コレラの予防的ワクチンの接種に要する経費  
・台風19号で被害を受けた中小企業や農家への支援に要する経費
- 埼玉県手数料条例の一部を改正する条例  
・豚コレラワクチンの注射に係る手数料の追加の2件を可決

### ●議員提出議案

- 近年の豪雨災害を踏まえた災害対策の更なる推進を求める意見書
- 災害から県民の生命と財産を守る県土強靱化等を求める決議の2件を可決

# 一般質問

9月定例会の一般質問は、9月27日から、15人の議員が質疑・質問を行い、活発な論議が行われました。

10月1日(火曜日)





白根大輔 (民主フォーラム)  
江原久美子 (県民)  
宮崎吾一 (自民)

9月30日(月曜日)





秋山文和 (共産党)  
石渡 豊 (公明)  
渡辺 大 (自民)

9月27日(金曜日)





山根史子 (民主フォーラム)  
鈴木正人 (県民)  
立石泰広 (自民)

## 知事の政治姿勢

知事の政治姿勢および選挙公約について

**Q** 知事が県政運営の柱とする「県民が主語」とはどのような意味なのか。また、上田県政の何を継承するのか。知事は選挙戦で政策通をPRしたが、政策の提案だけではなく、多くの困難な課題を解決し、実現してこそ政策通である。県民に何を訴えたかったのか伺う。

**A** 県民の利益の最大化を判断基準に置き施策展開することが「県民が主語」と考える。自治体を経営体と捉え成果を上げた点など上田県政の良い部分を継承する。これまでの政策立案で得た知識や経験を生かし、12分野128項目の具体的な政策の実現を訴えてご理解を頂いたと考える。

## 水道

ハツ場ダム建設の完成と効果について

**Q** ハツ場ダムの総工費約5300億円の約3割を負担する県は暫定水利権(※3)を得ているが、河川流量減少時に取水が制限されるリスクがある。ダム完成後、安定した取水が期待されるが、ダム建設の進捗状況とダムの完成による県営水道への効果について伺う。

**A** 10月からダムに水を貯める試験湛水を開始し、令和2年度に運用開始予定である。ハツ場ダム完成により利根川上流ダム群の利水容量が増え、渇水発生時のリスクが大幅に軽減する。また、県の暫定水利権は運用開始後にすべて安定水利権となり、安定した水道水の供給が可能となる。

## 教育

私学振興について

**Q** 令和2年度から全国一律に一部世帯に対する私立高校授業料の実質無償化が実施され、県単独だった父母負担軽減事業の財源が一部国費となる。この機会に事業を一層充実させ、私学振興を図るべきでないか。また、私立高校のICT教育環境のさらなる整備支援について伺う。

**A** 本県の父母負担軽減事業の補助水準は全国3位である。今後、全国一律の支援となる中で本県の私立高校を選択してもらうために必要な支援策を検討する。私立高校のICT教育環境は、今年度に機器整備費用の補助を新設した。今後、より効果的な支援の在り方を検討する。

知事の政治姿勢および選挙公約について

**Q** 知事は公約について、具体的な取り組みの進め方を工程表として整理しているかと答弁した。公約である「あと数マイルプロジェクト(※1)」について、完成年度、予算規模、財源、実現方法について伺う。また、目標達成までの具体的な工程表をいつ示すのか伺う。

**A** プロジェクトの対象である鉄道事業については、鉄道事業者・地元自治体・住民など多くの関係者との調整や、事業性や収支採算性、事業主体などの詳細な検討が必要である。今はビジョンを職員と共有していく段階であり、12月までには工程表の示し方を含めて回答したい。

## 環境

太陽光パネルの再利用化などについて

**Q** 太陽光パネルの寿命は20〜30年であり、近年急速に拡大した太陽光発電設備のパネルが今後使用済みとなり大量に排出される。県でもパネルのリサイクルの検討を始めているが、環境科学国際センターの知見・技術なども積極的に活用した今後の取り組みとその行程について伺う。

**A** 今年度、同センターに破砕機を設置し、企業と協働でパネル破砕の実証実験を開始した。今後、リサイクルに最適な運搬方法の検証結果を県内事業者へ情報提供し、現場の破砕機で活用したデータを収集する。技術的に支えつつノウハウを蓄積し、リサイクル技術確立につなげる。

若い才能を社会の問題解決の主体にPBL(※4)で事業立ち上げスキルを

**Q** PBLは社会問題解決の過程で学びを得る学習方法であり、「どう解決するか」を重視している。生徒自ら発想・企画して高いスキルを身に付け、将来世界が注目するプロジェクトを立ち上げる若者を育てる仕組みを学校現場に取り込むべきではないか。

**A** PBLは未来を切り開くための能力を育成する有効な手段である。新学習指導要領で必修となる「総合的な探究の時間」では自ら課題を発見し解決する能力を育成する。これを中心にさまざまな教育活動を通じ世界で注目されるプロジェクト立ち上げに挑戦する人材育成を目指す。

## 観光

洪沢栄一(※2)をブームで終わらせないについて

**Q** 洪沢栄一が新一万円札の肖像とNHK大河ドラマの主人公に選ばれた。今こそ日本の偉人としての功績を多くの方に理解してもらうべきである。大河ドラマのロケ地巡りや県の三偉人ゆかりの地巡り、記念イベント開催など、観光・経済振興に向けた今後の取り組みについて伺う。

**A** 一人の人物が大河ドラマの主人公かつ紙幣の顔になるという過去に例のないビッグチャンスを生かすことは大変重要である。まずはドラマの撮影が県内で多く行われるよう働き掛けるほか、三偉人巡りの企画・提案など、県全体の観光・経済振興につながるよう積極的に取り組む。

## 保健医療

女性特有のがん患者の就労支援について

**Q** 女性がん患者は、乳がん治療に伴う胸の切除など外見の変化による不安や、ホルモン治療に伴う生殖器への副作用などにより就労を断念することも多い。特有の事情と闘いながらがん治療と就労を両立する女性を支援するとともに、企業に労働環境整備を求めるべきではないか。

**A** 県内26カ所のがん相談支援センターでは年間約7万件の幅広い相談に対応している。がんワンストップ相談(※5)の両立支援促進員は時間単位の休暇制度の提案など企業との個別調整も行う。関係部局と連携したセミナーなどにより企業に労働環境整備の重要性を伝えていく。

## オリンピック

東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーについて

**Q** 1964年の大会開催時には首都高速や新幹線など大変便利になった。今回の東京2020大会においても価値あるものを残すことは重要である。県推進基本計画の取り組みで得られる、将来に残せる財産・価値あるレガシーとは何か具体的に伺う。

**A** 県民に価値あるレガシーを残すため三つの柱の下で取り組んでいる。「スポーツで支える県民の健康づくり」ではスポーツ実践の環境整備、「おもてなしの心」ではボランティア活動の推進、「埼玉文化の誇り」では世界への魅力発信と郷土文化の価値を再認識する機会を提供に取り組む。

医師定着対策と隣接県との連携について

**Q** 医師不足や診療科偏在など。県は総合医局機構を創設して医大生に奨学金を貸与し、医師不足の地域や診療科での勤務を促しているが、医師が定着していない。県外流出させず医師を県内定着させる取り組みと医療の充実に向けた隣接県との連携について伺う。

**A** 今後は、奨学金を受けていない一般の医師を含め、後期研修への県内誘導が進むよう、県内で医師の希望するキャリアを積むことができる研修環境を整備することで、医師の県内定着を図る。また、群馬県に続き、来年度から千葉県、茨城県とも救急医療情報システムで連携予定である。

一般質問で行われたすべての質疑質問・答弁の全文は、埼玉県議会のホームページでご覧いただけます。▼



本会議の様子



副議長 新井 豪 議長 神尾高善



梅澤佳一 (自民) 中野英幸 (自民) 飯塚俊彦 (自民)



10月2日(水曜日) 細田善則 (自民) 橋詰昌児 (公明) 宇田川幸夫 (自民)

### その他の主な質疑・質問

- 災害対応工程管理システムの導入について
- 北朝鮮による拉致問題解決に向けた、上田県政の継承と大野知事の方針について
- 性的少数者(LGBTなど)の諸課題について
- 離婚時の養育費の取り決めの啓発、勧奨について
- 県内市町村の子ども医療費助成をバックアップしよう
- 世界かんがい施設遺産にふさわしい「見沼代用水」の維持・管理を
- 特殊詐欺対策について
- ICT 戦略の推進について
- 埼玉高速鉄道へシフトする料金体系と延伸について
- 産前・産後ケアについて
- 8050 問題について
- データを扱う素養を持った人材育成を
- 乳幼児医療費助成制度における窓口無料化について
- 県内東西鉄道網の拡充について
- 川内優輝の夢第2弾

### 用語解説

- ※ 1 あと数マイルプロジェクト  
将来の人口・需要や新たな技術の動向などを十分に把握した上で、公共交通および道路網のさらなる利便性向上策について、これまでの経緯なども踏まえつつ検討を進めるもの。限られた予算の中で、県境路線を含めた効果の高い部分について、重点的に整備を進めるもの。
- ※ 2 渋沢栄一  
現在の深谷市出身。日本初の銀行である第一国立銀行の創立をはじめ、鉄道・製紙・造船など約500もの企業の設立・育成に携わったことから「近代日本経済の父」ともいわれる。江戸時代の盲目の国学者である堀保己一(現在の本庄市出身)と日本で最初の公認女性医師である荻野吟子(現在の熊谷市出身)と並び、埼玉ゆかりの三偉人のうちの一人。
- ※ 3 暫定水利権  
水利権とは、河川の流水を使用する権利である。安定した取水が認められる安定水利権とは異なり、暫定水利権は、ダムが未完成な時に、ダム建設に参画していることを担保として河川流量の豊富な時期にのみ取水できる不安定な権利である。

- ※ 4 PBL  
Project Based Learningの略。和訳で課題解決型学習とも言い、学生自らが、実社会における課題を設定し、プロジェクトを立ち上げて問題解決に取り組む。このプロセスを通じて、学生が将来問題解決に取り組む際に必要となる能力・ノウハウを育成する。
- ※ 5 がんワンストップ相談  
働くがん患者の方の治療と仕事の両立を支援するため、さいたま新都心駅から徒歩5分の埼玉県男女共同参画推進センター(With You さいたま)で平日の夜間に月2回実施している。看護師、医療ソーシャルワーカーのほか、患者と職場との個別調整支援を行う両立支援促進員(社会保険労務士など)、がん経験者などが幅広い相談にきめ細やかに対応する。
- ※ 6 里親しっかりサポート事業  
子どもの委託を受ける前の里親が、先輩里親の自宅で実習を行ったり、委託直後の里親の自宅に先輩里親が定期的に訪問したりするなど里親を一貫してサポートする事業のこと。

### 意見書・決議

意見書 9 件を可決し、国に提出しました。また、決議 1 件を可決しました。(●は全会一致での可決、○は賛成多数による可決)

- 豚コレラ対策の一層の強化を求める意見書
- 太陽光発電施設の立地規制等に係る法整備等を求める意見書
- 全ての新生児に対する聴覚検査等を求める意見書
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において子供たちに広く参加する機会を設けることを求める意見書
- あおり運転根絶に向けた対策の強化を求める意見書
- 道路等のインフラの老朽化対策の更なる推進を求める意見書
- 中小企業に対する更なる支援を求める意見書
- フリーランスへの支援を求める意見書
- 12月23日を「平成の日」と定め、国民の祝日とすることを求める意見書
- 北朝鮮による弾道ミサイルの発射に抗議し、制裁措置の厳格な履行等を求める決議

### 請願

採択された請願は次の通りです。

- 埼玉県日高市大字高麗本郷地内山林に計画されているメガソーラー発電開発計画の中止を求める請願
- 埼玉県食品ロス削減推進計画を早期に定めることを求める請願

### 安心・安全



**豚コレラの発生に係る対応について**

**Q** 9月に秩父市および小鹿野町で豚コレラが発生し、感染拡大の防止策や発生農場への支援など課題は山積している。現時点での被害の程度と農家への支援について伺う。また、さらなる人的・財政的な支援など、国への要望活動も含めた今後の対応について伺う。

**A** 豚コレラ発生の確認後、速やかに緊急対策本部で家畜伝染病予防法に沿った方針を決定し、豚の殺処分を行った。豚の所有者には国から手当金が交付される。国に対しては必要な支援を強く要望している。今議会において補正予算を提案し、対策と支援に全力で取り組む。

**高齢運転者の安全運転支援と免許証返納後の移動手段の確保について**

**Q** 75歳以上の運転者による死亡事故でブレキとアクセルの踏み間違いが原因の割合は他の年齢層より高い。県議会でも決議したが、ペダル踏み間違い時加速抑制装置の後付けに対する補助を検討すべきである。また、免許返納を促し事故減少に取り組む市町村を支援すべきでないか。

**A** 安全運転支援装置の性能認定制度創設を検討している国の動向、他県の後付け装置の補助制度の状況を踏まえ、効果的な制度の在り方を見直しを検討する。また、免許返納者に対するタクシー利用券の交付など、市町村の取り組みが維持、拡大されるよう支援の在り方を検討する。

### 福祉



**子どもの命を最優先に、児童相談所体制の強化を**

**Q** 児童虐待事件や虐待通告件数が増える中、国は児童相談所体制強化の新プランを決定し、人口3万人当たり1人の児童福祉司を配置することとした。本県はあと182人の増員が必要であるが、やり遂げる決意を伺う。また、児童相談所の新設の具体的な計画について伺う。

**A** 本県の昨年度の児童福祉司1人当たりの相談対応は73件で全国平均の1.5倍と負担が大きい。社会福祉士などの有資格者の採用を拡大するほか、福祉系大学へ働き掛け、国の基準に基づく人員確保に取り組む。児童相談所の新設については県内の状況を分析して早急に検討する。

**里親のさらなる周知・育成について**

**Q** 子どもにはできる限り家庭養育が好ましい。里親の登録拡大には各種メディアを効果的に活用すべきではないか。また、里親委託率向上には、里親しっかりサポート事業(※6)の充実強化と児童相談所での子どもと里親のマッチング機能強化が重要だが、今後の取り組みを伺う。

**A** 店舗など2500カ所のポスター掲示や、テレビ、SNSなどの媒体を活用しPRする。昨年度委託前の里親31世帯が延べ159回実習に参加したサポート事業の細やかな支援を充実する。児童相談所における里親委託担当職員のさらなる配置を進め、丁寧なマッチングを進める。

**保育士の処遇改善について**

**Q** 多くの保育施設が保育士の確保に苦慮しており、保育士の処遇改善を進めて早急に人材不足を解消する必要がある。保育士が働き続けたいと思える労働環境の構築が重要であり、県主導でモデル的な仕組みを提示するのが現実的と考える。今後の県独自の処遇改善策について伺う。

**A** 今年度、新卒保育士向けに1人当たり20万円の就職準備金貸付制度を県独自に開始した。さらに保育士宿舎借上補助事業の予算を増額して住宅費負担の軽減を図る。保育補助者の配置費用を助成するなど保育士の業務を軽減し、労働環境の改善を支援する。

9月13日と定例会中の5日間、会議を開き、本会議を円滑かつ効率的に進行するため、議事日程、質疑質問者の人数、採決の方法や順序などについて各会派間の協議を行いました。



井上航 副委員長 齊藤邦明 委員長 杉島理一郎 副委員長

# 議会運営委員会



# 委員会レポート report

9月27日、10月7日に常任委員会を開き、議案および請願の審査などを行いました。審査の結果、議案9件を原案の通り可決すべきものと決定しました。また、請願2件を採択すべきものと決定しました。

10月8日、9日には特別委員会を開き、付託案件の審査を行いました。

## 特別委員会

### 自然再生・循環社会対策特別委員会

循環社会の形成に向けた農林業・農山村づくりについて審査

### 地方創生・行財政改革特別委員会

地方財源の確保対策、地方創生の推進、県から市町村への権限移譲について審査

### 公的事業対策特別委員会

(株)さいたまアリーナ、(公財)埼玉県公園緑地協会および埼玉県住宅供給公社における改革の取り組みについて審査

### 少子・高齢福祉社会対策特別委員会

地域医療について審査

### 経済・雇用対策特別委員会

中小企業の振興について審査

### 危機管理・大規模災害対策特別委員会

地震対策などにおける地域の備え、被災地への支援体制について審査

### 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会

グローバル人材の育成について審査

### 県庁舎建替え等検討特別委員会

建て替えまたは改修を行う場合の課題および対応について審査

## 常任委員会

### 企画財政委員会

令和元年度埼玉県一般会計補正予算(第1号)について  
参議院議員補欠選挙

**Q** 選挙費用について、県分の約1億5500万円と市町村分の約20億5000万円は、それぞれ何に要する経費か。

**A** 県分は、主に、候補者の選挙運動用ビラの作成などに対し公費負担する経費および啓発事業に要する経費である。市町村分は、投票所の設置経費や職員の人件費、投票所入場券の発送経費などが主である。

### 産業労働企業委員会

県内店舗のキャッシュレス決済導入状況について

**Q** 事業者がキャッシュレス決済を導入するに当たって、アドバイスする仕組みはあるのか。

**A** 事業者の疑問に対応するため、埼玉県産業振興公社にICTアドバイザーを3名配置し、セミナー後の個別相談を実施したり、必要に応じ事業者を訪問したりしてアドバイスしている。

### 総務県民生活委員会

ラグビーワールドカップにおける観客の輸送体制について

**Q** ラグビーワールドカップにおける観客の輸送体制について伺いたい。

**A** 熊谷会場まで約300台のバスを利用して輸送を行った。熊谷駅から会場までは通常15分かかるが、県警察の協力により、バスが通過する際に信号調整することにより最速6分で到着することができ、大会主催者からも高い評価を得た。

### 県土都市整備委員会

令和元年度埼玉県一般会計補正予算(第2号)について  
公共事業の追加

**Q** 今回の補正予算にはどのような効果があるのか。

**A** 道路街路事業については投資効果が高い路線に対して、河川事業については近年浸水実績がある箇所についてそれぞれ、令和2年度までに予定していた工事や用地買収などに係る費用を前倒しして計上している。前倒しにより、各事業箇所を進捗させる効果がある。

### 環境農林委員会

令和元年度埼玉県一般会計補正予算(第3号)について  
豚コレラ対策

**Q** 今後の豚コレラ発生への備えについて、殺処分や埋却処分の経費は、何頭分程度どのような規模を想定しているか。

**A** 経費は1農場当たり1000頭規模で1億円程度であり、計8農場分を想定している。昨年、他県で立て続けに豚コレラが6件発生したことを考慮して、8農場分の想定としている。

### 文教委員会

川口市におけるいじめ問題について

**Q** 県内でいじめの案件が発生する中で、重要なのは発生後の対応である。県としてどのように考えているのか。

**A** いじめに対し適切に対応するため、市町村の会議や教員の研修などを通じて、いじめ防止対策推進法の適切な理解や初期段階での県への情報提供の重要性を周知するとともに、必要な指導・助言を徹底する。

### 福祉保健医療委員会

本県におけるプラチナナースの取り組みについて

**Q** 定年退職前後の看護師であるプラチナナースの人材と、看護人材が不足する分野をマッチングするような仕組みが必要と考えるがいかがか。

**A** 介護福祉施設などを紹介するセミナーを実施するとともに、看護師、雇用者双方のニーズの把握に努め、県ナースセンターと協力して、マッチングが進むよう検討する。

### 警察危機管理防災委員会

財産の取得について(コンピュータ)

**Q** 携帯電話の解析専用端末を扱っている業者に解析を依頼した方が安価ではないか。

**A** 解析を行う民間業者は少なく時間がかかる。速やかな犯罪捜査のためには警察で解析を行う必要がある。民間業者に依頼した場合、最安値でも1台で約50万円、年間5000台強で約25億円の費用となるため、警察で行う方が妥当である。

## 決算特別委員会を設置

継続審査となった平成30年度一般会計および特別会計決算、公営企業会計決算を閉会中に審査します。委員は次の通りです。定数18人(◎は委員長、○は副委員長)

- ◎小川真一郎(自民)
- 美田宗亮(自民)
- 平松大佑(県民)
- 柿沼貴志(県民)
- 逢澤圭一郎(自民)
- 千葉達也(自民)
- 渡辺大(自民)
- 松井弘(自民)
- 秋山もえ(共産党)
- 橋詰昌晃(公明)
- 細田善則(自民)
- 山根史子(民主フォーラム)
- 醍醐清(県民)
- 水村篤弘(民主フォーラム)
- 武内政文(自民)
- 梅澤佳一(自民)
- 塩野正行(公明)
- 齊藤正明(自民)

## 県議会クイズ

○に当てはまる言葉はなんでしょう。

9月20日に開催された議員○○研修会での講演テーマは「ラグビーを通じた教育、人材育成」でした。

はがきに右記のようにご記入の上、11月26日(火)(当日消印有効)までにお送りください。正解者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。対象は、埼玉県内に在住・在勤・在学している方のみとなります。

プレゼント図書カード(1,000円分)・・・20名様

県議会ホームページからも応募いただけます。



【個人情報の取り扱い】応募はがきは、抽選とプレゼントの発送以外の目的には使用いたしません。

県議会マスコット「ぽっぽ」  
1面をよ〜く読んでね!

消費税率変更に伴い切手料金も変更になりました。ご注意ください。

63 330-9301  
埼玉県議会事務局  
政策調査課  
「県議会クイズ」係

- クイズの答え
- 郵便番号
- 住所
- 県外にお住まいで、通勤・通学先が県内の方はその市町村名
- 氏名・年齢
- 県議会だよりに対するご意見

この広報紙は、点字版とデジ版(音声のみ)も発行しています。ご希望の方は、県議会事務局政策調査課広報担当(TEL.048-830-6257)にご連絡ください。



埼玉県議会は 2019年 GP環境大賞を受賞  
https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-news/r01/0913\_gp.html



この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で作られています。